

部 局 名	議会事務局
部 局 長 名	佐野 哲也
部の運営方針	○安定した議会運営の推進 執行機関との綿密な調整を行い、安定した議会運営に努めます。 ○活発な議会審議の推進 議会基本条例に沿った議会運営をサポートするとともに、本会議・委員会審議の充実のための情報収集、情報提供を積極的行います。 また、議会ペーパーレスシステムの導入に伴い、議会DXによる効率かつ円滑な議会運営を推進していきます。 ○身近な議会の実現 読みやすくわかりやすい議会だよりの発行及びインターネット中継など、ホームページを活用した議会情報の発信を積極的行います。 また、議会報告会などオンライン会議での開催について研究していきます。 ○広域な議会連携活動の強化 全国・関東・千葉県市議会議長会に参加して、広域的な情報交換を行うとともに、議会活動の連携強化に努めます。

部 局 名	議会事務局
部 局 長 名	佐野 哲也
部の運営方針 に対する総合 評価	○安定した議会運営の推進 企画総務部をはじめとする執行機関との綿密な調整を行い、事前準備を徹底することで、的確な本会議及び委員会を運営することができました。 ○活発な議会審議の推進 議会基本条例に沿った議会運営をサポートすることができた。また、議会ペーパーレスシステムを活用し、効率かつ円滑な議会運営を推進しました。 ○身近な議会の実現 迅速な議会情報の提供に努め、わかりやすく、読みやすい議会だよりの発行・インターネット中継の発信を行いました。 ○広域な議会連携活動の強化 東葛・千葉県・関東・全国の市議会議長会に参加し、広域的な情報交換を行ったことで、議会活動の連携を強化することができました。

部 局 名	監査委員事務局
部 局 長 名	津川 雄飛
部の運営方針	【効果的な監査等の推進】 ○市の行財政運営の健全性と透明性を確保し、もって住民福祉の増進と市政に対する信頼確保を図るため、法令や我孫子市監査基準等に基づき、常に独立的かつ客観的な立場で公正不偏の態度を保持し、合规性や正確性はもとより、経済性、効率性及び有効性の視点を踏まえ、リスクに着目した監査を行います。さらに、監査結果や監査委員の意見を公表します。 ○定期監査では、公正で合理的かつ効率的な行財政運営が図られるよう、重点監査事項を設けながら、予算の執行や契約事務の適正化、組織運営の合理化、財源の有効活用などの状況について監査を行います。なお、監査結果における指摘・指導事項等から対象事務の改善を求め、事務処理誤りが発生しない執行部組織の体制づくりに寄与するよう、より実効性のある監査を行います。 ○決算審査では、予算の執行や事業経営が適正かつ効率的に行なわれているか、また、決算書等の関係書類が正確に作成されているかなどの状況について審査を行います。併せて市の財政運営や公営企業経営の健全性を判断するため、健全化判断比率と水道事業会計・下水道事業会計の資金不足比率の審査を行います。 ○財政援助団体等の監査では、公の施設の管理者（指定管理者）や市の出資団体等に対し、財務事務等が適正かつ効率的に執行されているかなど状況について監査を行います。 ○現金出納検査では、市の一般会計及び特別会計、水道事業会計及び下水道事業会計に係る現金の出納及び保管事務について、毎月、適正に執行及び管理されているかなどの状況について検査します。 【事務改善の支援】 ○監査結果における指摘・指導事項等については、的確に対象事務が改善されるよう継続的なフォローアップを行います。なお、必要に応じて、職員研修の実施や事務処理ルールの見直しなどについて提言し、さらなる内部統制の充実・強化に取り組んでいきます。 【組織体制の充実】 ○監査委員の事務を補助する事務局職員については、より適切で実効性のある監査が実施できるよう、研修会への積極的な参加や他自治体との情報連携を図りながら職員の専門性の向上や機能的な監査組織の構築に向け、組織体制の充実・強化に取り組んでいきます。

部 局 名	監査委員事務局
部 局 長 名	津川 雄飛
部の運営方針 に対する総合 評価	部の運営方針に掲げた監査等については、令和7年4月1日に監査の基本方針や実施方針等を記載した「令和7年度監査計画」に基づき、次のとおり監査等を実施し、その結果を公表しました。引き続き、常に独立的かつ客観的な立場で公正な監査等が行えるよう、事務局職員の研修会への積極的な参加や他市等との連携を図り、監査に係わる情報を収集するなど監査事務の充実に努めていきます。 (1) 定期監査 期間：令和8年1月15日から令和8年2月5日まで 対象：全部局（全課） (2) 財政援助団体監査 ①出資団体 期日：令和7年8月8日 対象：我孫子市土地開発公社（主管課：財政課） ②財政援助団体等 期日：令和7年8月26日から令和7年11月27日まで 対象：我孫子インフォメーションセンター指定管理者（主管課：商業観光課） (3) 決算審査 ①一般会計・特別会計 期間：令和7年6月13日から令和7年8月8日まで 対象：一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計 ②公営企業会計 期間：令和7年6月13日から令和7年8月8日まで 対象：下水道事業会計、水道事業会計 (4) 基金運用状況審査 期間：令和7年6月13日から令和7年8月8日まで 対象：修学資金貸付基金、高額療養費貸付基金、国保出産費資金貸付基金 (5) 健全化判断比率審査 期間：令和7年8月5日から令和7年8月8日まで 対象：実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質交際費比率及び将来負担比率並びにその算出の基礎となる事項を審査 (6) 資金不足比率審査 期間：令和7年8月5日から令和7年8月8日まで 対象：下水道事業会計及び水道事業会計の資金不足及びその算定の基礎となる事項を審査 (7) 例月現金出納検査 期日：原則として毎月27日 対象：一般会計・特別会計、下水道事業会計、水道事業会計

部 局 名	選挙管理委員会事務局
部 局 長 名	高見澤 隆
部の運営方針	【選挙の執行】 ○令和 7 年 7 月に任期満了の参議院議員選挙に備えるとともに、適正な選挙の執行に努めます。 【投票環境の整備】 ○投票しやすい環境づくりを進めるため、引き続き投票区の見直し、投票所の変更及び期日前投票所の見直し等を検討し、適切な投票環境の向上に努めます。 【選挙啓発】 ○明るい選挙推進協議会と連携し、引き続き地道な啓発活動に努めるとともに、小・中・高校生を中心とした主権者教育や、これまで実施してきた L I N E ・ F a c e b o o k での啓発に加え、令和 6 年度より新たに開始した公式 X を活用した啓発活動の実施により、若年層の選挙への関心を高める取組を進めます。また、正しい選挙運動の周知に引き続き努めます。

部 局 名	選挙管理委員会事務局
部 局 長 名	高見澤 隆
部の運営方針 に対する総合 評価	【選挙の執行】 ○令和7年7月20日執行の参議院議員通常選挙においては、適正な選挙の執行に努め、問題なく終えることができました。 令和8年2月8日執行の衆議院議員総選挙においては、任期満了を待たない急な解散による選挙かつ執行日までの準備期間が非常に短い中での選挙執行となりました。期日前投票期間において、他市の選挙人名簿に登録されている選挙人が来場し、不在者投票を行ったところ、本来であれば選挙人の請求先である選挙区に送致すべきところ、誤って本市の期日前投票所の投票箱に投函させてしまった事務誤りがありましたので、再発防止に向けてマニュアル等の見直しを行いました。 【投票環境の整備】 ○引き続き必要な投票環境の整備を行っていきます。 【選挙啓発】 ○明るい選挙推進協議会と連携し、「あびこん創業祭」、「げんきフェスタ」、「新産業まつり」での啓発活動を実施しました。参議院議員通常選挙時には我孫子・天王台・湖北・新木・布佐の各地区で啓発活動を実施しました。また、衆議院議員総選挙時には、準備期間が非常に短かったため、我孫子駅周辺での啓発活動を実施しました。 ○市内小・中学校を対象に明るい選挙啓発ポスター・標語コンクールの実施や、市内の小学校1校、中学校4校、特別支援学校2校に選挙用備品の貸出をしました。 ○令和6年5月から開設した、Xの選挙管理委員会アカウントにて、選挙に関する情報の発信を行いました。

部 局 名	農業委員会
部 局 長 名	大井 一郎
部の運営方針	・ 農業委員会等に関する法律の趣旨を踏まえ、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農地等の利用の最適化（担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）に努めます。 ・ 農地の売買や転用について、農業者を代表する機関として、公平・公正に審査します。 ・ 農政課と連携し、農業の担い手の育成に努めるとともに、農業後継者の確保に取り組みます。 ・ 遊休農地や無断転用の発生・防止に努めます。 ・ 農業における女性リーダーの育成、複数の女性農業委員と農地利用最適化推進委員の登用促進に向けた取り組みを進めます。

部 局 名	農業委員会
部 局 長 名	大井 一郎
部の運営方針 に対する総合 評価	・ 農業委員会等に関する法律の趣旨を踏まえ、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農地等の利用の最適化（担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）に努めました。 ・ 農地の売買や転用について、農業者を代表する機関として、公平・公正に審査しました。 ・ 農政課と連携し、農業の担い手の育成に努めるとともに、農業後継者の確保に取り組みました。 ・ 遊休農地や無断転用の発生・防止に努めました。 ・ 農業における女性リーダーの育成、複数の女性農業委員と農地利用最適化推進委員の登用促進に向けた取り組みを進めました。